

浦部 法穂教授講演会

「世界史の中での日本国憲法の意義」

憲法は権力を縛るための法です。これまで、多くの人々は、憲法は自分たちが守るものだと思っていましたが、昨今少しずつ、憲法は権力者が守るべきものだという理解が広がってきました。

では、なぜ、権力担当者を憲法によって縛ることが必要なのでしょうか。それを考えるためには、このような考え方が出てきた歴史をきちんと理解しておく必要があります。

日本国憲法の制定も、憲法という考え方が生まれ発展してきた世界史の文脈の中に位置づけられます。浦部教授のお話は、世界史の大きな流れの中から今日の日本社会の現状と未来を問うものとなるでしょう。

講演会では、歴史教育者協議会からも発言していただきます。世界史と憲法について深める機会として、多くの方々のご来場をお待ちしています。



浦部 法穂教授

日時：2008年12月6日(土)午後3時～5時

講師：浦部 法穂氏(名古屋大教授)

浦部 法穂氏の略歴

1946年愛知県生まれ。

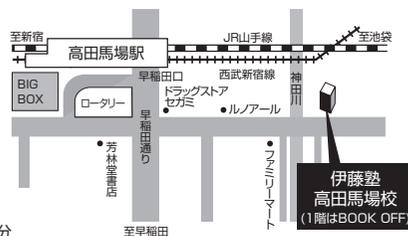
神戸大学法学部長・副学長を経て、現在名古屋大学教授。法学館憲法研究所主席客員研究員。主な著書に、『違憲審査の基準』(頸草書房)、『注釈 日本国憲法(上)(下)』(共著、青林書院)、『憲法キーワード』(編著、有斐閣)、『「憲法改正」批判』(旬報社)、『ドキュメント「日本国憲法」』(共編著、日本評論社)、『入門 憲法ゼミナール』(実務教育出版)、『全訂 憲法学教室』(日本評論社)、『いま、憲法学を問う』(共編著、日本評論社)、『憲法の本』(共栄書房)、『法科大学院ケースブック憲法』(共編著、日本評論社)、など。

会場：伊藤塾 高田馬場校

〒171-0033

東京都豊島区高田3-14-29

グレイスビルF



交通 JR・東京メトロ東西線・西武新宿線高田馬場駅早稲田口より徒歩3分

入場料：1,000円(法学館憲法研究所賛助会員・学生・伊藤塾塾生は500円)

主催：法学館憲法研究所

協賛：歴史教育者協議会

262_081029H

法学館憲法研究所(所長：伊藤真)

〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町17-5 電話 03-5489-2153 FAX 03-3780-0130

E-mail info@jicl.jp Web http://www.jicl.jp/